

カードゲームで学ぶ「SDGs」

国連が掲げる「^{エスディーズ}SDGs」（持続可能な開発目標）について、カードゲームなどを通じて学ぶ勉強会が11日、名古屋市中区の朝日新聞名古屋本社で開かれ、東海地方の教育関係者ら約20人が参加した。

名古屋

SDGsは「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等を実現しよう」など、世界が2030年までに達成を目指す17の目標。学校の探究学習に取り上げられることも増えてい



ゲームを通じてSDGsを学ぶ教員ら―名古屋市中区

る。勉強会では中野健秀・愛知学院大准教授が講師となり、SDGsの概要を解説。その後、一般社団法人「イマココラボ」がつくったカードゲーム「2030 SDGs」を通じ、様々な価値観がある世界各国がどうつながり、どうやって目標を実現するかを疑似体験し

た。参加した県立旭丘高校の安田惣一非常勤講師は「総合的な学習の時間」にSDGsを取り上げようと考えているといい、「初めてゲームを経験し、興味深かった。時間の制約はあるが、身近な課題を通じてSDGsを伝え、行動につなげることが必要だと思った」と話した。

© 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。